



公益財団法人 School Aid Japan バングラデシュ通信 2014年1月号 No. 13



NDMHS での一年に感謝をこめて

生徒達が自ら企画した「お世話になった全てに感謝する会」が行われました。

Narayankul Dream Model High School (NDMHS) の仮校舎、指導してくれた先生方にお礼を言いたい。そして新校舎で新しい一年を迎える喜びを、みんなで共有したい。そんな思いで生徒たちは一生懸命計画・運営しました。歌やダンス、トークショーといった出し物も生徒自身で考え、盛り上がるようにと練習してきました。

先生方への感謝の言葉では、担任の先生やクラスが大好きで、このクラスですべて学校生活を送っていきたくて、涙を流した生徒もいました。時には厳しく指導されたことも、最後には良い思い出として蘇ってきたのでしょう。

この一年間、先生方も生徒たちも自分のクラスが本当に大好きになりました。一年の最後に来年はより一層精進することを生徒達は皆で誓い、会を終えました。



生徒が自分たちで考え、準備、運営をしました

終業式

12月19日、一年を締めくくる終業式が行われました。成績優秀者、皆勤賞、そしてMVD (Most Valuable Dreamer: 一年間で、NDMHSの中で最も夢に向かってチャレンジした生徒に送られる賞) の表彰が行われました。

成績優秀者トップ3の中の2人の家には電気が通ってなく、夜になると明かりが無い状態にもかかわらず、2人は学校から借りる小さな懐中電灯を頼りに猛勉強を続けてきました。



初代 MVD に選ばれたソニア・アクタル



将来の夢は弁護士になることです

栄えある初代 MVD には、セクション B のソニア・アクタルが選ばれました。彼女の夢は「弁護士になり、この国のために働くこと」です。2013 年、ソニアは将来弁護士になるためにまず、人間としてレベルアップしようと考えました。学校の勉強を頑張りながら、NDMHS の学校行事運営も積極的に手伝ってくれました。ソニアは行事運営をする中で、みんなのために仕事をするの大変さとやりがいを実感したと語っていました。

日本語の勉強も頑張り、日本からの来客があった際には積極的に日本語でコミュニケーションをとりました。そんなソニアは今ではすっかり NDMHS の人気者で、生徒代表のような存在です。

MVD として表彰されたとき、ソニアは頑張ったことが生徒や先生方みんなに認められてうれしかったのでしょう。裾で涙を拭うシーンが見られました。

学校のリーダーとして、今後も活躍を期待したいと思います。